

■事務室の方へ 恐れ入りますが、分会長さんへお渡しください。

長野高教組FAXニュース	増刷りの上、職場のみなさんに配布してください。
〒380-8790 長野市県町 593 TEL 026-234-2216 FAX 026-234-2219 メール naganokokyoso@educas.jp HP http://naganokokyoso.com/ FAX ニュースは、HP からダウンロードできます	2021年3月3日(木) No. 396 (21-13)

3月3日、書記長談話を発表し、マスコミ各社、ロシア大使館に送付しました。

ロシアのプーチン大統領はウクライナ侵略を直ちに中止せよ！ (談話)

2022年3月3日

長野県高等学校教職員組合

書記長 近藤 正

ロシアのプーチン大統領は、2月24日午前6時(モスクワ時間)にテレビ演説し、親ロシア派組織とウクライナ軍の対立が続くウクライナ東部での「特別軍事作戦」の実施を宣言し、同日ロシア軍はウクライナへの全面的な侵略を開始しました。

ロシア国防省は24日の時点で「ウクライナの軍事基盤、軍事工場、空軍を対象とした精密攻撃を行っている」と発表しましたが、ロシア軍による侵略開始後1週間が経過して私たちが目にしているのは、攻撃対象が住宅地や大学、病院など市民生活全般に拡大し、すでに無差別攻撃に近い現地の惨状です。ウクライナ当局によれば、これまでに子どもを含む市民2000人以上が死亡し、数十万人にも上るウクライナ市民が戦火を逃れ、隣国等に避難や国外脱出を余儀なくされています。

このような悲惨な状況を生んだロシアの軍事侵略に対し、私たちは満腔の怒りをもって抗議し、ロシア軍の即時撤退を強く求めます。

そもそも今回の軍事侵略に先立つ2月21日、プーチン大統領はウクライナ東部2州の親ロシア派が実効支配する地域の独立を一方的に承認したうえで、「集団的自衛権」を盾に軍を派遣する方針を決めました。また、ウクライナ東部紛争の和平条件を定めた「ミンスク合意」について「もはや存在しない」と一方的な破棄を宣言した上で24日に軍事作戦を開始しました。これは明確な国連憲章違反であり、今回の軍事侵攻が国際法違反の主権国家に対する軍事侵略であることは明白です。

岸田政権が「今回のロシアによるウクライナ侵略は、力による一方的な現状変更の試みであり、国際秩序の根幹を揺るがす行為。明白な国際法違反であり、断じて許すことはできず、厳しく非難する」と表明したことは当然のことです。

さらにプーチン大統領が、ロシアは核保有大国であると繰り返し述べ、その先制使用にまで言及していることは核兵器禁止条約が発効し、第1回締約国会議が開かれようとしている今、核兵器廃絶にむかう歴史の潮流を無視し、逆行させようとする許しがたい行為です。

今、国際機関はもとより、世界中の政府・NGO・民間企業・そして市民の間にロシアのプーチン大統領への抗議と平和を求める声が広がっています。ロシア国内にあっても弾圧に屈せずウクライナへの侵略をやめるよう声を上げる人々が数多くいることにも勇気づけられます。

私たちは教職員として「教え子を再び戦場に送るな」という言葉の意味を再確認し、子どもたちと共に今のウクライナの現状から目をそむけることなく、ともに平和の尊さと命の重さ、私たちがなすべきことを考えていきます。また日本政府に対して、今こそ「憲法9条」の精神に立った平和構築のための外交努力を世界に発信することを強く求めます。